

内科 小児科  
産科 婦人科 漢方  
浮田医院  
だより



## 第 26 号

発行所：内科 小児科  
産科 婦人科 漢方 浮田医院

〒520-1214  
滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28  
TEL 0740-32-3751  
FAX 0740-32-3795  
<http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>

発行日：平成13年2月5日(月)

発行者：浮田徹也



節分も終わり、新しい世紀が本格的に始まりました。今月から浮田医院の診察風景を描写してみます。当院の診察の流れを知りたいと思います。

ある日の診察室の風景

「○○さん、どうぞ。」と私が前屈み、小走り気味に私の前に48歳の女性（Aさん）が現われました。私は、ソファーの方を手の平で指し、「どうぞお掛け下さい。」と話しかけます。

顔色はやや青白く、神経質そうに見受けられました。カルテの表紙と問診表をちらっと見て、「どうされましたか？」と問い合わせますと、ゆっくりと話し始め、「今月の生理が長く続いて止まりにくいので、心配になつて来ました。先月までは、生理は順調にあり、5日ほどでピタッと止まつておりました。」「今月の生理の量はいつもと同じで

したか？」「はい。」「生理痛がありましたか？」「いいえ。」「最近、子宮癌の検査を受けておられますか？」「いいえ。」「他に困っていることはありますか？」「朝が弱く、起きるのが億劫で家事が辛いです、

## 漢方薬のよさ（26） 診察室風景 I



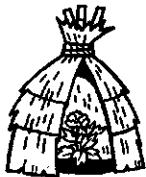
北野天満宮のウメ

足と腰がよく冷えて、以前から腰痛があります。月に3～4回頭痛もあります。」「そうですか。では、内診で、子宮と卵巢に病気がないか、よく調べてみましょう。その後で、お腹や脈、舌を診察しながら、色々な症状についてお聞きしましょう。」私の側に控えていた看護婦が、Aさんを内診室へ誘導し、診察（内診）の要領を説明し、腔式超音波の仕方、子宮癌検査の方法などを説明します。その間、私は、カルテに問診時に書き漏らした事、検査指示の内容を書込みます。次の方は、アトピー性皮膚炎のBさん28歳女性の方です。内診の準備ができるまでの間、別の看護婦が「○○さん、ベットにお休みください。お腹をよく診察して頂くため、恥骨から胸まで衣類を外してくださいね。」と、Bさんがベットに横になるのを手伝います。Bさんは、もう5回目の診察で、現在服用中の漢方薬でアトピー性皮膚炎がよくなつてきていました。そこで、私はベットのところへ行き、「おはようございます。調子はいかがですか？便通、食欲など変わりありませんか？」



# や う き

「外出して太陽に当たる機会が増えたためか、頸の部分が赤くなっています、前よりかゆくなっています。」  
体全体が褐色気味で、お腹の皮膚はザラザラ（鳥肌様）した傾向のある方で、漢方治療を始める前は、顔、首、胸、背中、下肢は赤く、痒くて仕方がなく、搔くとジクジクした汁が出て、一部化膿し、顔もむくんでいましたが、現在は、顔のむくみも取れジクジクした部分はなくなっています。太陽に当たって痒いと言われましたが、口の渴きや便秘の訴えがありませんでしたので、今までの薬をベースに皮膚に蓄まっている熱を減らすために、熱を冷やす作用のある黄連解毒湯と言う漢方薬の量を増加させて、荆芥連翹湯+黄連解毒湯+石膏+大黃と言う処方に決めました。お腹、舌、脈の診察をしながら、「体に太陽のエネルギーが蓄まってきていますので、体を冷やすお薬を少し追加して出します。爪を立てて搔き傷を作らないように気をつけてください。お薬が少しづつ効いて、3~4日の間に痒みも赤みも減ってきます。」「ありがとうございます。」「で



〔院長〕

患者さんの診察で、「望診」と言う方法があります。顔色、お腹の皮膚、脚の皮膚、腔壁の色、子宮腹部の色、眼の輝き、舌の色や舌苔の状態などから様々な情報が得られます。内診の時は、大腿部や下腿部や足の裏をよく観察できます。漢方薬を処方するための情報はどこに隠されているかわかりません。

## アトピー性皮膚炎

外邪（ダニ、ハウスダスト、肉、紫外線…）に過敏な皮膚が原因です。五臓六腑を調整し、体のひずみを正しながら、スキンケアをし、症状に応じて、軟膏（時に、ステロイド外用薬）、消毒、保湿剤、入浴剤などを使用します。過敏な皮膚を守るため、食事、掃除、睡眠、疲労、ストレス…などに注意して下さい。



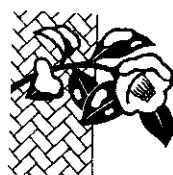
## アレルギー性鼻炎

クシャミ、鼻水、鼻づまり、涙、目の痒み…いやですね。今年の花粉は、2月中旬から飛び始めるそうです。アレルギー性鼻炎でお困りの方、2月初旬よりお薬を始め、およそ5月頃まで継続して下さい。



## 乳 哺 炎

お産が終わって2~3日すると、お乳が腫り始めます。この時期の痛みは乳房の充血のためなので、無理やり絞らず、漢方薬を飲むのがよいと思われます。お乳の排出がうまくいかないと、乳汁が鬱滯したり、赤く腫れて痛み、全身に発熱してきます。この場合、漢方薬、抗生素質、乳房マッサージ、授乳でほとんどよくなります。



## 当院の漢方治療



## 剤型について

- ・エキス漢方：錠剤タイプの漢方薬と顆粒タイプの漢方薬を取り揃えています。
- ・漢方煎じ薬：良質の生薬を組合せた漢方薬。40~50分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、【冷蔵庫】で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の【漢方専用容器】（無料）をご利用下さい。

## 適応症について

すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩凝り、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱・・・など全ての症状に対応できます。

## ・漢方薬のよく効く疾患

アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩凝り、腰痛、便秘症、子宮内膜症、生理痛、冷え症、低血圧症、子宮筋腫、過敏性大腸炎、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎、口内炎、口腔乾燥症、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆囊炎、胆石症、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、帯状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・等

## ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患

高血圧症、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、鬱病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・・・・等

## エキス漢方と漢方煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（錠剤あるいは顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合

漢方煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。

**女性の方**に限らず、**男性の方**や**子供の方**もご相談下さい（**高齢の方**、**乳幼児の方**もどうぞ）。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、便、心電図、骨塩量測定・・・）などを利用して、【漢方薬】の決定をします。

## 錠剤漢方薬

皆様方のご希望に答えて、**錠剤タイプの漢方薬**を多数取り揃えました。お気軽にお申し出下さい。

## 神経照射（スーパーライザー）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくして、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫などの治療に利用します。

## 皮内針

針の長さは1~2mmで、刺す時の痛みはありません。  
【適応】肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・

## 外用薬・点眼薬・点鼻薬

外用薬（漢方薬、アトピー用、痒み止、非ステロイド、ステロイド、抗生物質、抗真菌用、保湿用、にきび用）、点眼薬（抗菌剤、抗生素質、抗アレルギー剤）、点鼻薬（抗アレルギー剤）、喘息吸入薬、口腔内（口内炎用貼付及び軟膏、抗真菌用、含嗽[うがい]用）、湿布薬（冷・温湿布）、痔（軟膏、座薬）など。

## 漢方入浴剤

美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび  
昇竜湯：神経痛、腰痛、肩凝り、疲労回復  
アトピーの方の【漢方入浴剤】お作りします。

## 処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーの場合  
【受診者名簿】の【処置診】の欄に、【氏名】を書き、診察券を入れて下さい。

## 骨量測定（DEXA）

1分で測定（極少量のX線吸収を利用）でき、結果は、直ぐお知らせします。尿で、骨の壊れ方の検査もしています。

## 低用量ピル

従来のピルよりも副作用が減っていますが、きちんと服用して頂くため、問診表を作成しています。

## 保険証変更の方

保険証変更予定の方、保険証変更された方は、できるだけ早く、受付に連絡して下さい。保険が使えなくなることがあります。

## 駐車場

・北・駐車場(40台)（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）  
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで  
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで  
・東・南駐車場(11台)（終日駐車可能）

## 外来診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
午前	一般外来	妊婦外来 助産婦相談室	漢方外来	漢方外来	妊婦外来 助産婦相談室	一般外来	-
夕方	更年期外来	-	不妊外来	-	漢方外来	-	-

午前の診察（月～土） 午前9:00～正午 午後の診察（月・水・金） 午後5:30～午後7:30

◇一般外来：漢方治療を望まれる方〔男性・女性・小児、どなたでもお越し下さい〕  
産科〔妊婦健診・妊娠中の方の不調〕

婦人科〔癌健診・子宮筋腫・子宮内膜症・更年期障害・不正出血・・・〕

◇漢方外来：内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・など全科

◇更年期外来：更年期の方・思春期の方〔女性・男性、どなたでもお越し下さい〕

◇不妊外来：赤ちゃんの欲しい方〔ご夫婦でもお越しになれます〕

◇妊婦外来：妊婦健診・妊娠中の方：(火)午前11:00～正午は産後健診、赤ちゃん健診

◇助産婦相談室：妊婦相談、乳房相談、育児相談（午前8:40～午後12:30）（日程は掲示）

## 〔前期と中期－母親教室〕

日時：2月6日、4月17日、6月5日（火）

対象：妊娠7ヶ月までの方（定員5名）（無料）

場所：当院1階 申込方法：【申込ノート】にご予約ください。

皆様方のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ月2回にいたします。ティータイム、ご期待ください。

## 〔後期－母親教室〕

日時：2月13日、27日、3月13日、4月10日、24日、5月8日（火）

対象：妊娠8～10ヶ月の方（定員5名）（無料）

お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。



## 母親教室ティータイム

“肉まん”と“デアポロ”でティータイムのひとときをお楽しみ下さい。  
アツアツの“肉まん”を囲むと、寒い冬でも、体も心も暖かくなります。

“デアポロ”は“悪魔のような”と言う意味ですが、実は、バンドーロ型に焼くチョコレートのかわいいケーキです。母親教室でお会いしましょう。



## お産後の子宮

お産が終わると、赤ちゃんの入っていた大きな子宮はどんどん小さくなり、1カ月～1カ月半で妊娠前の大きさになります。しかし、母乳の出方が順調でなかったり、疲労の回復が遅かったり、便秘したりすると、子宮の戻りも遅れます。当院では、内診と腔式超音波を併用して、子宮の回復を診察しています。その原因に応じて、最適の治療薬（ほとんど漢方薬）を処方し、状況によって、乳房マッサージ、生活指導、悪露の吸引を実施しています。退院後の健診や1カ月健診で、お産後の子宮の診察をていねいに実施していますので、ご安心下さい。

## 分娩予約の手続き

当院で分娩を予定されておられる方、できるだけお早めに、受付でご予約ください。ご予約には、分娩予約カードと予約金5万円が必要です。予約された方には、“母と子のてびき”をお渡しします。

## ハーフコンサート（無料）

ポール・ハースト（Paul Hurst）は、クラシックからポップスまでほとんどのジャンルをハーブで弾きこなす国際的ハーピストで、日本が大好きな方です。“日本（東洋）の文化を護り、西洋文化も大切にしている”当院の心（あり方）をハーブの調べに乗せ、皆様を魅了してくれることでしょう。  
日付：4月14日（土） 時間：午後7時～午後9時  
場所：ガリバーホール（高島町）

チケット：浮田医院に、整理券を取りに直接お越し下さい。もし、ご都合の悪くなられた方は、ご連絡下さい（お席をお譲り下さい）。

## 助産婦相談室

妊娠中、乳房、母乳、育児相談と健診の説明。

日時：火・金曜日 午前8:40～午後12:30（無料、掲示）

## 赤ちゃん健診

1カ月健診、2カ月健診、3カ月健診をしています。

日時：毎週火曜日、午前11時～正午（有料）

## 入院食（手作り）

心のこもった【手作り】料理です。素材、味付けメニューなど、絶えず工夫し研究しています。

## 第11回妊婦のための料理教室

日付：3月15日（木） 時間：午前10時～午後2時  
対象：妊婦の方（無料） 献立：ミニフランス料理